

**2019年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部 国際社会科学科 3年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留 学 先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 University of New South Wales Business School
原則 公開	留 学 期 間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年 2月 14日 ～ 2019年 12月 日 出国日 2019年 2月 9日 最終帰国日 2019年 12月 17日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

後悔なく留学を終えることができた。英語力は、特に“話す・聞く”能力の向上が自分で実感できた。チュートリアルでのグループディスカッションや寮生活でたくさん英語に触れたおかげだと考えている。“読む”に関しては、教科書や文献を多く読んでテストや課題に臨んだので、熟読して理解するスピードは上がったが、速読力はあまり変わらなかったと思う。“書く”は、授業で習う単語をレポートに書いて表現をある程度身につけられたが、基本のスキルやレポートで使えるような難しい単語の急激な上昇は、思ったほどではなかった。留学前からこれら2つは丹念に、継続的に行っておいたのでそれでカバーできたので、今後留学を考えている人は、継続的な学習をしてもらいたい。

文化交流では、日本語の授業でアシスタントとして参加させていただいた。教室内を歩き回って生徒の質問に答えたり、毎度授業の最後にロールプレイをしてリスニング問題を手伝ったりした。どれも日本では経験できなかったのも、とても新鮮でやりがいを感じた。日本語を教える難しさを実感した。また、その授業で仲良くなれた人と出かけるなど交流の機会が広がった。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

現地の観光スポットを研究しておけば、もっとスムーズに計画を立てられたと思う。

オーストラリアだけでなく中国などからの留学生とも話すことを考えると、世界の経済状況、文化の違い、日本についてもっと知っておくべきだった。特に、日本について詳しくなっていたほうがよい。日本人よりも日本のことをよく知っている方々がたくさんいるので、日本を説明できないと恥ずかしい思いをする。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

3学期制ということもあり、全てを10週間ずつで詰め込めるような、非常に大変な勉強だった。講義中には生徒からの質問が飛び交うなど、日本とは異なる雰囲気だった。ほとんどの授業が録画した講義を大学のサイトにのせるので、復習に役に立った。チュートリアルでは、およそ20人前後のクラスで構成され、講義の内容をさらに深める授業だった。毎週課題が出され、プレゼンテーションやグループレポートに取り組む授業がほとんどだった。チュートリアルでは発言をしないと出席点をもらえなかったり、80%の出席が必要だったりするので、日本の大学とは異なり自ら進んで勉強しないと追いつけない環境だった。私も初めはグループワークで苦勞したが徐々に慣れ始めたので、練習と積極性があれば乗り越えられると感じた。

教授は熱心で質問等の対応も優しいので、わからないことはどんどん質問をしたほうがよいと思った。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

施設がとても充実していて、何不自由なく大学内で生活が全部できてしまうほどである。コンビニ、スーパー、カフェ、バー、レストラン、郵便局、銀行、薬局、旅行代理店がそろっている。

私は大学内の寮で暮らしていたので、交通費の心配や授業の遅刻の心配もなく、とても便利だった。寮の雰囲気はとてもよく、みんな気軽に仲良くなれるので、友達関係で悩むことはなかった。寮によっては騒がしいところもあるので、選ぶ際には注意が必要である。

図書館は24時間空いている勉強スペースがあり、集中して勉強ができた。また、図書館自体は朝7時から開くので、朝勉強したい人にもおすすめである。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

Academic Mentor という生徒の学習相談がほぼ毎週開かれている。

Arc という学習院では輔仁会に相当する組織に会員登録をすれば、定期的にメールが届く。大学内でパーティーや夜市など、ほぼ毎日イベントが行われているので、書ききれないほどの交流の場と楽しみがある。Arc Goes to というものもあり、毎週末にシドニーや郊外へ出かける小旅行がとても楽しく、オーストラリアの自然を満喫できるのでお勧めである。私は旅行が好きなので、このイベントに積極的に参加してオーストラリアを満喫した。そこで出会った新しい友達とゴールドコーストへ旅行したり定期的に夜ご飯を一緒に作ったりできたので、出会いの機会としても最高のイベントである。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

治安はよい。

ただし、真夜中までシドニー中心街にいるのは少し控えたほうが安全。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

みんな優しく、勉強熱心で、経歴も出身の全く違う人たちと出会えるので、とても充実した生活を送ることができる。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
International Business Finance	
International Business and Multinational Operations	
Economic Growth, Technology, and Structure Change	
Business and the Law	
International Human Resource Management	
Asia-Pacific Capital Market	
Environmental Economics	
Brand Management	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 A\$1582 、(日本円) 約 14 万 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 (寮によっては昼食も付いている)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 0 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

大学内に住んでいたため、交通費や時間をかけずに済んだ。

UNSW Hall という寮で生活した。みんな優しく定期的に寮でイベントが開催されるので積極的に参加した。友達もでき、英語力が上がったので、とても充実した生活を送れた。

他にも大学内には寮がたくさんあるが、UNSW Hall は他よりもイベントが楽しいものも多く友達との距離が近く、またオンとオフの切り替えがはっきりしているため、おすすめの寮である。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 124 万 円

協定なので学費は留学先には払っていない

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 17 万 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 、(日本円) 約 円

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

~~インターナショナルキャッシュカード~~ / ~~クレジットカード~~ / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 (現地で銀行口座を作った)

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

オーストラリアでは、カード決済のほうが便利である。デビットカードは精算機でタッチ式なので、支払いがスムーズである。また、割り勘の際にはアプリで送る金額と振込先を入力すれば、その場で振込ができるので、現金よりも煩わしくない。私は、両親からの仕送りを Commonwealth Bank というオーストラリアの銀行の口座に一旦入金し、そこからお金のやりくりをした。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

20 万円、寮費

5. 保険について

(1) 保険会社名

Medibank

(2) 保険料

5万円

(3) 加入した保険の種類、内容

OSHC

(4) 感想、良かった点・悪かった点

これをとらないと学生ビザを取得できないので、絶対必要である。

私は夜間外来で1度病院へ行き、その分の金額は後で返金された。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

~~手荷物~~ / 船便 / SAL便 / 航空便 / 海外宅配便 (帰り) / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

お菓子、文房具、大学の教材

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

変圧器、辞書、石鹸等アメニティ

(4) 持って行けば良かったと思う物

便箋、カメラ

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

授業、課題、買い物、寮のイベント、友達と遊ぶ

(2) 週末

課題、友達と遊ぶ、寮のイベント、小旅行

8. 後輩へのアドバイス等

継続的な言語学習は必須である。また、日本について詳しくしておくべき。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。